

# 平成27年美濃加茂市教育委員会 4月定例会 会議録

## 1 開会日時及び場所

平成27年4月20日(月) 午前10時から午後12時15分まで  
市役所分庁舎4階 第1会議室

## 2 出席者

(教育委員)

委員長 安江 ちか子  
委員 渡邊 須美樹  
委員 横堀 優子  
委員 加納 義章  
委員 矢島 良子  
教育長 日比野 安平

(事務局)

事務局長 小田島 史佳  
学校教育課長 古川 一男  
教育センター次長 中島 永至  
教育総務課課長補佐 長谷川 壮重

(市長部局)

市民協働部長 渡辺 久登  
生涯学習課長 佐藤 文彦  
文化振興課長 水野 和実  
スポーツ振興課長 福地 芳郎  
こども課長 山田 久美子

## 3 開会 午前10時00分

## 4 議事日程等

(1) 教育委員長あいさつ

(2) 教育長報告

(3) 議題

①議第1号 美濃加茂市の教育について

②議第2号 「岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会規約(案)」の承認及び「平成27年度岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会」の設置について

(4) 報告事項

①平成27年度の児童生徒数について

②中学生の進路先について

(5) その他

①教育センター

②学校教育課の行事予定

# 会 議 録

委員長あいさつ

※委員長から開会のあいさつ

教育長報告

先日、自治会長さん方の研修会が5年ぶりくらいに総合福祉会館で開催され、自治会長、市議会議員、市長、副市長、各部長が一堂に会された。フロム0歳プランと美濃加茂市の教育の流れ、教育の平面展開、事業企画について話をした。

当市では、1年間に子どもの出入りが200人ほどある。一般的には親の転勤に伴って4月が多いと思われるが、当市では年を通じて動きがあると言える状況。

外国籍児童生徒の数は、280人くらいから少しずつ増え、今年は300人から310人くらいになるとの報告を受けている。

新年度が始まり、校長会、教頭会、教務主任会を開催した。どの会でも申し上げるのは、「子どもを丸腰で社会に出すな」ということ。つまり、基礎学力をしっかりと付ける。学校教育で不足な部分は、スクールサポーターや通学指導、読み聞かせ指導など学校行事への参加は大変ありがたい、地域の力をお借りしたい。学校での勉強は当然だが、文化活動や情操教育、スポ少などでたくましい精神力を養うなど、地域の方々に大変お世話になっている。

ピースフォーラムで長崎へ美濃加茂市の代表中学生を派遣する。吉永小百合さんが坪内逍遙大賞を全額寄付してくださった。

## 【議事】

議第1号 「美濃加茂市の教育」について

～関係各課から資料を用いてそれぞれ説明～

渡辺市民協働部長

### 【市長部局 市民協働部】

※市民協働部長から、地域振興課、環境課の事務事業について説明

佐藤生涯学習課長

※生涯学習課の事務事業について説明

水野文化振興課長

※文化振興課の事務事業について説明

福地スポーツ振興課長

※スポーツ振興課の事務事業について説明

### 【市長部局 健康福祉部】

山田こども課長

※こども課の事務事業について説明

安江委員長

文化振興課とスポーツ振興課の課長さんにはお休みのところありがとうございました。今までの説明を聞かれて何か質問等がございましたらどうぞ。

渡邊委員 今まで説明していただいた課の仕事というのは、教育委員会と関係がないというか、教育委員会の職務分掌に入っていることですか。

小田島事務局長 職務分掌には入っていません。

渡邊委員 入ってないですね。以前は全部教育委員会の管轄だったということで続けてみえると思うのですが、私たちが市長部局の各課の業務に対してここで意見を言っても、教育委員会は言いっぱなしということになりかねないかなと。わざわざ定例会の中でこういう説明をやらなければいけないかと少し思います。言いたいことはたくさんあるので、別で時間を取っていただく方がいいのではないかと。学校教育課など市教委の仕事の部分にもっと時間をとったほうがいいかなという気もします。

小田島事務局長 「美濃加茂市の教育」の4ページの見出しに「美濃加茂市教育委員会及び教育委員会事務局 関係部署組織図」とあります。渡邊委員がおっしゃるように、以前は教育委員会の下に現市民協働部の部分が入っていたのですが、その当時からフロム0歳プランということで事業を進めております。健康福祉部のこども課長にも来ていただいておりますけど、一貫した教育という視点を持っていただくということもあり、各課がどんな事業をやっているかということと4月当初の第1回定例会において今までも説明をさせていただいたところです。

やはり時間が短いのでこの時間だけで各部署の事業について説明をというのは無理があるかなと思いますが、この辺りは今後顔つなぎをしていただいて、各課の部課長の所に色んなご意見をいただければいいと思いますし、こちらの教育委員会を通しておっしゃっていただければお伝えすることも出来ますので。そういうことで今日は各課の事業の概略ではありますが、紹介させていただいたということでご了解いただければと思います。今後またこの時間帯に各課からの説明をやっていくかどうかということについては検討させていただきたいと思います。

日比野教育長 フロム0歳プランを推進するため、教育委員会の事務局のほうでは、市長部局の職員と毎月会議を持っています。当然子どもの教育なので密接な関わりがありますから、我々もそれぞれの課がやっている事業は承知している必要がありますし、情報共有、意見交換を毎月やっております。教育委員さん方とはいつも顔を合わせるわけではないですから、ぜひ年度始めのところでこうやってお話ししてもらいたいと思っています。今日お集まりの部課長から要請があれば教育委員会を臨時でも開きたいと思っています。そういう意味で大変大事な機会だと思っていますのでお願いいたします。

生涯学習課の「楽習ひろば」は、事業が拡大してきていますし、本当に子どもたちが生き生きとやっています。親さんの評判もとても良くな

	<p>っています。数人でのスタートでなかなか増えなかったのですが、口コミで増えていって今は大人気に。岐阜大学の学生たちにもボランティアで「楽習ひろば」に入ってもらえないかと先生に話しています。</p>
安江委員長	<p>私個人としては、毎年新事業もあることですし、顔つなぎもあったり、説明していただくことは、私達自身が少しでも高めるために必要ではないかと思います。</p> <p>各課の皆さん、本当に今日はありがとうございました。</p> <p>※市長部局の部課長退席</p>
安江委員長	<p>それでは、教育総務課からお願いします。</p>

～引き続き教育総務課、学校教育課、教育センターから資料を用いて説明～

安江委員長	<p>ありがとうございました。何かございますか。</p>
渡邊委員	<p>教育総務課の課題・問題点で、学校給食の徴収については、何の徴収率ですか。</p>
小田島事務局長	<p>平成23年度から、市の特別会計ではなく一般会計に変更したのですが、それからの徴収が出来ていない過年度分の徴収率になります。平成26年度までの過年度分です。</p>
渡邊委員	<p>過去にそういう徴収が出来なかった人たちの未納額ということですか。</p>
小田島事務局長	<p>はい、そうです。それをなんとか徴収していきたいと。</p>
渡邊委員	<p>目標として半分以上を徴収していきたいと。金額的にはどのぐらいあるのですか。</p>
小田島事務局長	<p>金額については今資料を持ち合わせておりませんが。</p>
日比野教育長	<p>徴収率は、98.何パーセントぐらいですかね。</p>
渡邊委員	<p>それは全体のってことですね。</p> <p>確かに100%徴収できるといいですが、いつまでも過年度未納分を残してしまっても、その額に対して徴収率50%の目標では低いのではないかという話になってきます。例えば基準を作って、「ここから以前は</p>

免除」ということではないですけど、納付義務がなくなるとかそうしていかないと。この数字を見ていると非常にイメージが悪くならないか。資料からは、「学校給食費を50%しか徴収していない」と読めてしまう。現状で仕方ないことなんですけど、何か制度を改められてはと思います。

日比野教育長

括弧で現年度の徴収率は九十何パーセントと記載したらどうか。

小田島事務局長

給食費の扱いがどういうものなのかが定まっていませんので。

渡邊委員

続いて、その下の「小規模特認校制度導入し、」と言い切っている箇所について、先ほどの事務局長の説明ですと「もう少し時間をかけて」ということですので、表現を直した方がいいのかなという気がします。

日比野教育長

これは、私は平成28年度からやりたいと思っている。市民への周知徹底は勿論分かっているが、事務上の何か決定的な問題があるのですか。

小田島事務局長

事務上は、市民の方々に理解していただく期間的、時間的な問題だけです。

日比野教育長

これは実は研修に行ってもらった成果なのです。ぜひやりたいということなのですが、6月ぐらいに次の年度の職員配置や学校の規模などを決めていかないといけない。それを事務局で6月ぐらいに把握して8月ぐらいに決まっていけないということです。それまでに学校にも地域にも説明していくのが難しい。そうすると平成28年度からは厳しいので、平成27年度から28年度にかけて周知と準備をし、平成29年度からがやはり合理的なのかなと。ちょっと残念に思うんですが。

渡邊委員

事務局長が言われたように、やはり地域の人が盛り上がらないと駄目だと思うんです。こちらから一方的に「いい制度ありますよ」「はい、やりますよ」というのはあまり良くないと思います。地域の方々から「子どもたちが来てくれて嬉しい」というような盛り上がりを作っていないと。そのためには時間は必要だと思います。今年度上手く取り組んで、来年どうするかということを考えて、進めていっていただければと思います。

それから学校教育課ですけれど、課の課題とか問題点を読むと非常に悲惨な状況だということを思われませんか。児童生徒の大部分がこういう（学習意欲や勤労意欲が低く、コミュニケーション能力が低下している）状態なのか、ある限られた児童生徒だけなのか。表現を変えたほうが良い。教職員の問題についても、「体罰・不祥事の根絶を図る。」と書いてあるが、これを読むと「そんなことあるのかな」と思われる。第三者の方が見られたらショックを受けるんじゃないか。

古川学校教育課長

確かに断定的な記述になってしまっています。改めます。

安江委員長

他の委員さん、何かございませんでしょうか。

加納委員

特認校のことはかなり大きな問題。将来に亘ってそっちへ進むのか、統合に向けていくのか、舵切の大きな分かれ目になる。特認校をやっていくときに学校選びで何を見て決めるのか。例えば特色ある学校経営の取組みがいくつかあっても、「よし、三和小へ行こう。」とはなかなかならない。ですから、この魅力づくりを一方で真剣に進めていかないと。親としてはかなり勇気のいることだと思うんです。中学校はどうなるだろうとかも含めて考えなくてはいけない。よほどの魅力を打ち出せるように一方で一生懸命サポートしてあげないと、なかなか親が思い切れないかなと思います。

日比野教育長

そのとおりなんです。校長会・教頭会・教務主任会で話してきましたが、伊深・三和のような小さいところは、例えば、子どもを4時まで残して学習指導の不足分をやってくれないかと。そういうことを可茂地区の中でやっている学校もある。そういう取組みを表に出していけば「そういうことをやって貰えるか」と思っただけ。学童保育はその後も残らなければならない児童を対象に行えば良い。

また、山之上小も単学級で、伊深・三和と一緒にしてもまだ単学級なんです。そこで英語教育に取り組んでいますから、ぜひ英語教育をダボ市とやって欲しい。姉妹都市提携して25年経ったのですから、年間に1、2回ぐらいはダボ市の小学校と交流したいと思うのです。予算が少なく厳しいですけど、山之上小の特徴として三和小も伊深小も3校と一緒にダボ市と交流する。「ミニワールドルーム」から発信して、市民向けに説明していく。今年度の一つの看板事業として。そういう取組みを見ていただかないと、「他では出来ないけど小規模校でやって貰えるんだ」「行ってみようか」という気にならないですから。だから提案を色々いただくと有り難いです。小さいから出来るという取組みはありますから。

安江委員長

他にはよろしいでしょうか。

横堀委員

教育センターからのお話ですが、少し危惧をしておりましたことがやっぱりかという様な内容だったんです。例えばQUテストの活かし方については、やはりお話のように格差がある。各学校での捉え方、活かし方にかかなりばらつきがあるとお話でした。また、ユニバーサルデザインですね。必ずしも足並みを揃えることがいいとは思いませんが、それぞれの学校ごとに課題として「良」としない結果が出てくることの検証

をしていただき、追ってご報告をお願いします。困り感や不登校の子ども達、その子達への対応のばらつき。やはりそんなにばらつきがあっては困りますので、それぞれ考え方に違いはあるものの、先生からのご説明の「格差が」という言葉がちょっと気になります。またそうした実態も併せて話を聞かせていただきたいと思います。

中島センター次長

ありがとうございます。ぜひ教育委員さんの訪問時などの折に色々ご指摘をいただきたい。私も課題はお示しします。

日比野教育長

QU検査と書いてありますが、ハイパーQUと両方ありますから「ハイパー」を入れていただきたい。美濃加茂市はハイパーですので。2種類あるので分かるように書いておいて欲しい。

今「ユニバーサルデザイン」という言葉が氾濫していますけど、言葉のいじくりだけで終わるということをよく聞くので、やっぱり具体的に何を指しているか、一番の根本に関わる所の変化というか動きが見えるといいと思いますのでお願いします。

横堀委員

いいお話だけを聞いていたような。学校訪問で先生方がそれぞれの子どもの特徴を合わせてそれなりの成果が上がっているという。お金を随分分かけているので、「これだけの成果がありました」というお話を聞かせていただいていたところでの今日のご報告で、少し「あれっ」という思いをしました。

日比野教育長

「ねりあい」とか「とことん」とか新しい言葉が時々出てくるんですけど、その言葉の説明に1年間終始しないで、そこからどんな成果が得られたかということがないと。義務教育を心配する声がありますので、よろしくお願いします。

安江委員長

ではこの議第1号に関しては訂正していただくということで。

渡邊委員

表紙に「美濃加茂市教育委員会」と書いてある以上、この冊子を承認するなら、生涯学習などを教育委員会の所管から外してもらいたい。責任の範囲を越えていると思いますので、賛成できないですけど。

小田島事務局長

分かりました。美濃加茂市の教育という大きな括りの中で、教育委員会の関係部署として市民協働部の生涯学習課や健康福祉部のこども課が入っている点について所管の表記の方法として違うだろうということですね。

安江委員長

では、「参考資料」ということではどうでしょうか。

横堀委員	「参考資料」という言葉を添えることで私どもの思いが伝わり、理解してもらえないのではないかなと思います。
小田島事務局長	「所管している」と言うよりは、関連している部署が掲載されているという風にご理解いただければ有り難いと思います。ここから外してしまってそれこそ資料編の方に持っていくことも可能ですし、今のままで「関係部署」という表現を付け加えるような形にさせていただいたりするか。教育予算の概要も「市長部局」という記載になってますので、同じような表記のし方にするか。
安江委員長	私は別に外す必要は無いような気がするんです。あくまでも美濃加茂市の教育ということで、特に今年は「もっと交流」まで謳ってみえるのに、教育委員会であれだけ説明していただいても、別に教育委員会に責任を持っていただきたいと思ってみえるわけではないと思いますし、関係部署であると思うんですけど。フロム0歳プランからしても。いかがでしょうか。
小田島事務局長	渡邊委員さんがおっしゃるのは、「教育委員会の議第1号として承認をするのに対して責任を持たないといけない」ということ。今のこの形ではおっしゃる通りだと思いますので、事務局のほうで修正案を考えてみます。今回はフロム0歳プランのベースがあって、それに則ってこういった資料をまとめたのですが、例えばフロム0歳プランの中の位置付けにすれば、教育委員会としては「こういうことをやって進めているので」という説明もできるでしょうし、市長部局ごと全部関係部署ということで一言付けさせていただくこともできます。
安江委員長	フロム0歳プランのリーフレットがありましたが、あれには課などが裏に書いてありますよね。そういう形でまた考えていただくことはどうでしょう。
日比野教育長	一般に市民が見られた時に誤解を生じないように、責任の所在が分かるように、一覧表の説明を付けたほうがいい。
小田島事務局長	はい。次回まで持ち越させていただきます。

**議第2号 「岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会規約（案）」の承認及び「平成27年度岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会」の設置について**

安江委員長	議第2号「岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会規約（案）」の承認及び「平成27年度岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会」の設置について
-------	---



古川学校教育課長

て、よろしく申し上げます。

規約と協議会の設置についてご承認をいただきたいというものです。

まず1点目ですが、本年度は中学校における教科用図書の採択の年度になっています。これに当たり、この可茂地区採択協議会規約案に示させていただいたような形で進めて参りたいという提案をさせていただきたいと思います。

大きく修正したところが3点、見え消しで表記してあります。変更点は第2条、第5条、第7条です。

第2条につきましては、ここに今までは採択地区ということで10市町村名と2つの中学校組合が明記してありましたが、修正案は、組合を含め、各市町村教育委員会の名称を明記するというものです。

第5条につきましては、新教育長制度が発足し、この4月1日から施行しているということで教育委員長の職が無くなっていく市町村が順次出て参ります。このため「教育委員長」という文言を「教育委員の代表」に修正するという提案です。

第7条の副会長の補佐に関する規定の任務についての箇所につきましては、「副会長」を「会長があらかじめ指名する委員」に改めるということです。

大きな変更点は今申しました3点です。その根拠は、教育委員会制度の改正ということと、この協議会の主体は教育委員会であるということとを明記することです。

次に、今提案をしました採択協議会の規約の中にもありますが、これを踏まえまして可茂地区採択協議会の設置の提案をいたします。

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づいて平成27年度に岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会を設置し、採択に係る協議を行うということで、美濃加茂市教育委員会におきましてもこの採択協議会を設置する議決をお願いしたいということで提案をいたします。

以上2件でございます。

安江委員長

この件に関してはよろしいでしょうか。

※特に意見なし。

安江委員長

では議第2号の件に関しては決定するという事で承認をいただきました。

## 【報告事項】

### 1 平成27年度の児童生徒数について

安江委員長	平成27年度の児童生徒数について、古川先生お願いいたします。
古川学校教育課長	<p>お配りいたしました資料は、4月7日現在の児童生徒数及び特別支援学級、通常学級数の現状を示した表です。</p> <p>三和小学校につきましては1・2年生、3・4年生、5・6年生が「完全複式」という言葉を使うことがあります、それぞれ3学級でスタートします。伊深小学校については複式学級は無いということで、複式学級があるのは三和のみとなっています。</p> <p>中学校につきましては、西中学校よりも東中学校が生徒数が多くなっているのが現状です。</p>

## 2 中学生の進路先について

安江委員長	続いて中学生の進路先についてお願いいたします。
小田島事務局長	これにつきましては申し訳ございません。未集計ということで後日報告をいたします。
安江委員長	<p>分かりました。</p> <p>次にその他に入ります。</p>

### 【その他】

#### 1 教育センター

中島センター次長	特にありません。
----------	----------

#### 2 学校教育課の行事予定

古川学校教育課長	<p>資料に5月と6月の行事予定を載せてあります。今の段階で学校教育課に係る諸行事についてはこの様な見通しです。</p> <p>例年お願いしております教育委員訪問ですが、5月から6月の間に計画を進めたいと思っています。なお、6月につきましては議会等入って参りますので、色々厳しい日程の中でお願いをさせていただくこととなりますがよろしくお願いいたします。今後担当から教育委員の皆様にもご都合を伺い、日程を詰めさせていただきます。</p> <p>また、教科書採択について付け加えですが、双葉中の中学校組合のほうにつきましては組合の教育委員会には渡邊委員と加納委員に出席いただくとことでそれぞれ富加町と美濃加茂市と兼ね合いの中で進めさせていただくということでよろしくお願いいたします。</p>
小田島事務局長	特に採択の会議を開かずに今日のこの会が組合の方に報告され、富加

安江委員長

町は富加町教育委員会で協議されて、それが中学校組合の協議で承認したと同じものにしましょうということをお願いします。

最後に、次回の教育委員会の定例会の予定を決めさせていただきます。

次回の定例会は5月18日の13時30分から。場所は後日連絡します。

これもちまして4月の定例会を終わらせていただきます。

閉会 午後12時15分